
冬の終わり

山下 凜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

冬の終わり

【Nコード】

N2137B

【作者名】

山下 凜

【あらすじ】

愛する人を想って唄う詞です。誰でも感じる事はあるだろう、という仮定のもので、愛する人がどのように去ってゆくのかは読んだ人の解釈におまかせします。

消えそうなおぼろ月が二人の未来を照らしていた
「側に居たい」 ただ一つの願いも叶わぬまま

幸せだったあの日々が 今はあたしを苦しめる
朽ちる事のない想いはずっと 心を蝕んだまま
マツゲに溜まる 涙が零れた
何もかも失くした 冬の終わり

一人じゃ何も出来ない あたしなのに
忘れもしないあの夜 あなたは去った

願わずにはいられない 数々の望みたち
今すぐここへ来て ぬくもりを感じたい
叶わない願いは 心の奥底で鍵をかけられて
ずっと消えないままなのでしょ

眠ると現れる あなたの姿いつもの笑顔
今はまだ思い出せる いつになったら忘れられる？
忘れようとする事は 弱さなんかじゃない
でも 思い出になんて出来ない

一人じゃ何も出来ない あたしには
あなたの存在が「強さ」だった

願わずにはいられない 数々の望みたち
今すぐここへ来て ぬくもりを感じたい
叶わない願いは 心の奥底で鍵をかけられて

ずっと消えないままなのでしょ

眩しいほどに輝く光が 何か伝えている気がした
あなたの声が 顔が 今も心に焼き付いていて
あなたの存在が あたしの中の全てだった
それを失くした今 どうやって生きてゆけば：

願わずにはいられない 数々の望みたち
今すぐここへ来て ぬくもりを感じたい
叶わない願いは 心の奥底で鍵をかけられて
ずっと消えないままなのでしょ

消えそうなおぼろ月が あの夜未来を照らしていた
「側に居たい」 たった一つの願いも叶わなかった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2137b/>

冬の終わり

2011年1月22日03時37分発行